

（蔵書のところには）後漢に草書にすぐれ草聖とまで言われた杜度の書いた草書、隸書で多年苦心し後世に称される魏の鐘繇の隸書のものがあり、

杜

稿

鍾

隸

あり、

と

こう

しょう

れい



冬

或いは漆うるしで書かれた最も早い時期の書物、秦の焚書坑儒の暴政で文化的に大打撃を受けた時、孔子の旧宅で壁中に隠して、後に出てきた經典もあったであろう。

漆

しつ

書

しよ

壁

へき

經

けい

あり。



官庁には武官文官の統率者がずらりと控えており、

府ふ
には
将しょう
相しょう
羅つら
なり、



陽●

陽●

歌

大通りには三公九卿の邸宅
が両側にある。

路

みち

は

槐

かい

卿

きよう

に

俠

はさ

まれり。

※槐卿Ⅱ三公九卿、三公は天子を補佐する最高官、
周では大師・太傅・太保
前漢では大司馬・大司徒・大司空
後漢では太尉・司徒・司空。



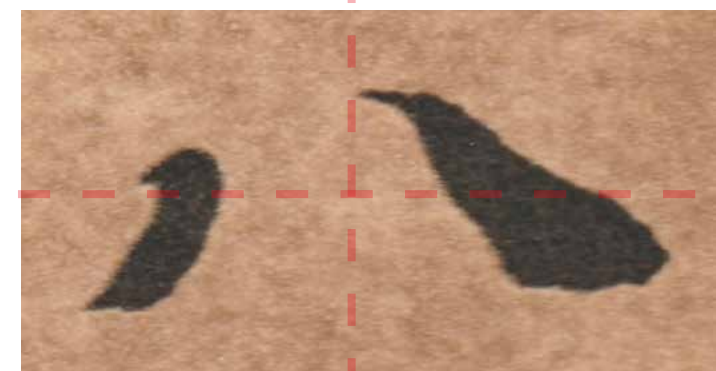
佳灰



庚

（前の三公等の勲功に對して）三公には民戸八県分を与えられ、

戸 と
は はち
縣 けん
に
封 ほう
ぜられ、



先 ●

冬

戦攻のあつた民には千人の兵士を給してその攻をたたえた。

家

か

には

千

せん

兵

へい

を

給

たま

ふ。

千

兵

家

給

先

麻

庚

（高官が）高い冠をつけて天子の車の御供に加わり、

冠

かんむり

を

高

たか

くして

輦

れん

に

陪

ばい

し、



灰

豪●

寒●

車を走らせて冠の紐がゆれつつ進む。



こく

を



か

り



えい

を



ふる

う。



●真

虞



庚

●

代々棒禄を受けている（高い位の）官吏の家は奢り豊かであり、

世

せ

禄

ろく

は

侈

し

富

ふ

にして、

侈

富

世

禄

車を引く馬は肥えてたくましく、車も軽やかに走る。

車

しや

駕

が

肥

ひ

輕

けい

あり。

肥

輕

車

駕

微

麻魚

庚●

●